

平成27年(2015年)7月8日 (水曜日)

レアメタル再生技術研究が総会 「リサイクルの役割大」

田会長 100人出席、4講演実施



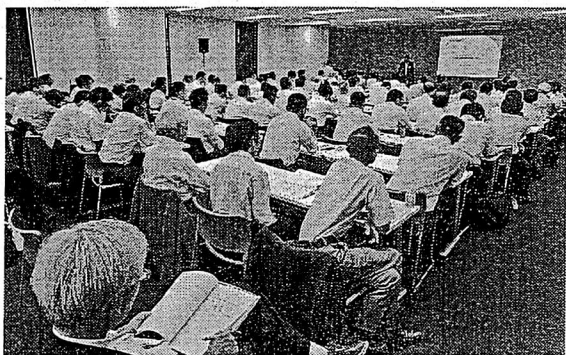
レアメタル資源再生技術研究会(藤田豊久 東京大学大学院工学系研究科教授)は1日、名古屋市中村区のウィングあいちで通常総会

および第10回目となる講演会を開催、産学官の関係者約100人が出席した。

席上あいさつした藤田会長(写真①)は「今回は10年12月に発足以降、記念すべき10回目の開催だ。発足当時はレアメタル、特にレアアースが高騰していたが、足元の価格は10年以降の水準に戻っている。今週レアア

ス最大手の米モリコープが破たんしたが、レアメタルショックを引き起こさないためにも鉱山開発や、我々が取り組んでいるリサイクルが果たす役割は大きくなる」と語った。

今回は「レアメタル資源リサイクルビジネスの国際展開ー日本からアジアに向けてー」をテーマに、4講演を開いた。前回に引き続き台湾から陳偉聖台湾国立成功大学教授を講師に招いたほか、公益財団法人国際環境技術センターが日台産業協カプロジェクトについて説明。参加者は熱心に聞き入った。



100人が最新動向を学んだ